

■ 会社概要 (平成29年5月20日現在)

Corporate Profile

会社名	株式会社クスリのアオキホールディングス
所在地	(本部) 石川県白山市松本町2512番地
電話	(代表) 076-274-6115
設立	平成11年7月30日
資本金	1,030百万円
従業員数	1,770名
平均臨時雇用者数	3,993名
店舗数	386店舗
事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨などの近隣型小売業、調剤業務等を行う子会社の経営戦略・経営管理等の提供

■ 役員状況 (平成29年5月20日現在)

Board of Directors

取締役会長	青木桂生
取締役最高顧問	青木保外志
代表取締役社長	青木宏憲
社長執行役員	青木孝憲
専務執行役員	青木孝憲
取締役役員	八幡亮一
常務執行役員	八幡亮一
取締役役員	吉野邦彦
常務執行役員	吉野邦彦
社外取締役	鶴羽樹
社外取締役	岡田元和也
常勤監査役	廣田元男
社外監査役	桑島敏彰
社外監査役	中村明子

■ IRスケジュール

IR Schedule

平成29年	8月 初旬	定時株主総会招集ご通知・株主優待のご案内発送
	8月 17日	第19回定時株主総会開催
	8月 17日	定時株主総会決議ご通知・年次報告書発送
	8月 31日	株主優待のお申込み締切
	9月 中旬	平成30年5月期 第1四半期決算発表
	9月 下旬	株主優待品発送
	12月 中旬	平成30年5月期 第2四半期決算発表
平成30年	3月 中旬	平成30年5月期 第3四半期決算発表
	5月 20日	平成30年5月期 決算期末日
	6月 下旬	平成30年5月期 決算発表

■ 株主メモ

Shareholders Information

事業年度	毎年5月21日から翌年5月20日まで
定時株主総会	毎年8月20日までに開催
定時株主総会の基準日	毎年5月20日
期末配当の基準日	毎年5月20日
中間配当の基準日	毎年11月20日
公告方法	電子公告< http://www.kusuri-aoki-hd.co.jp > ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行センター
お問合せ先	電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

■ よくあるお問合せ

Shareholders FAQ

住所変更のお申出先について

株主様のお取引の証券会社等にお申出ください。
なお、特別口座の株主様は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● ホームページのご案内

<https://www.kusuri-aoki-hd.co.jp> または
クスリのアオキホールディングス 検索

株主・投資家の皆様に、下記情報を含めた最新のニュース・トピックスを公開しております。

- 財務ハイライト
- 決算短信
- 月次営業速報
- IRスケジュール

● ネットショップはこちら

<http://shop.kusuri-aoki.co.jp/>



BUSINESS REPORT

第19期 年次報告書

平成28年5月21日～平成29年5月20日



株式会社 **クスリのアオキ** ホールディングス

証券コード：3549



ご挨拶

株主の皆様には、日頃より格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

去る、平成29年8月17日に株式会社クスリのアオキホールディングス第19回定時株主総会を開催いたしました。昨年11月に持株会社体制となって以来、初めての定時株主総会を滞りなく終えられましたことを厚く御礼申し上げます。

そして、今期はクスリのアオキホールディングスとして20期を迎えます。役員、社員一同新たな決意をもち、地域の皆様にとってなくてはならない、「近くて便利なドラッグストア、かかりつけ薬局」として、社業の発展により努力してまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 青木 宏憲

Q 平成29年5月期の出店状況について振り返りをお聞かせください。



平成29年5月期は過去最高の70店舗の新規出店を果たしました。そして、そのうち7割以上となる55店舗が北関東・東海・近畿と、新規エリアでの出店となっております。

また、新規エリアの開拓としては、平成28年11月に栃木県、平成29年4月に奈良県、同年5月には京都府に各府県の第1号店を出店いたしました。

今後も、多様化するお客様のニーズやライフスタイルの変化にお応えできるよう、地域のお客様にとってより便利な店づくりを追求してまいります。

Q 平成30年5月期以降の中期経営目標をお聞かせください。

当社は平成34年5月期売上高3,000億円という目標を打ち出し、平成27年5月期からの3年間、計画を上回る業績を達成することができました。

近年、ドラッグストア業界では寡占化が進行し、他社との競争環境はさらに激化するものと予想されます。この競争環境の中で将来を見据え成長していくためには、1年でも早く売上高3,000億円を達成する必要があると考えております。

今期より、この達成目標を2年前倒し、平成32年5月期売上高3,000億円を目指し、新規出店を進めることで認知度を高め、お客様にご支持いただける店舗づくりを継続し、全国に通用するドラッグストアチェーンを目指してまいります。



Q 売上高3,000億円を達成するために、どのような課題がありますか。



平成32年5月期売上高3,000億円を目指し、今期も新規出店を進めてまいります。出店が増加する中、それに伴う課題として、人材確保や人材育成が必要となっております。

これらの課題に対し、今期より社員の給与体系を一新し待遇改善を進めること、また本部組織再編により、社員採用の強化と社員教育の強化も進めてまいります。

そして、現状に満足することなく、当社が企業として継続的に発展をしていくことこそが、株主の皆様のご期待に応える最大の責任であると考え、今後も社業の発展、企業価値向上に全力で取り組んでまいります。



新規エリア 奈良県、京都府へ初出店

平成29年4月に奈良県第1号店となる真弓店（生駒市）、同年5月に京都府1号店となる久世南店（京都市）を出店いたしました。

これにより、営業エリアは全14府県となり、当該営業エリアにおける商圏人口は3,500万人規模となりました。

久世南店（京都府京都市） 5月10日オープン

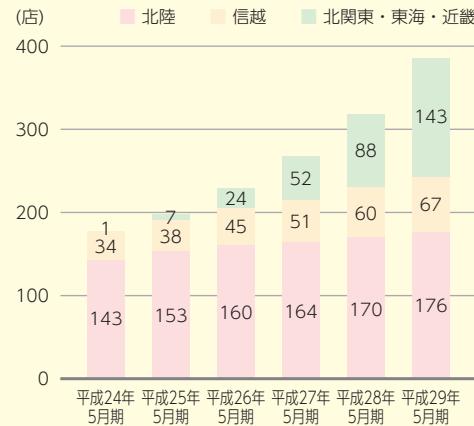


真弓店（奈良県生駒市） 4月19日オープン

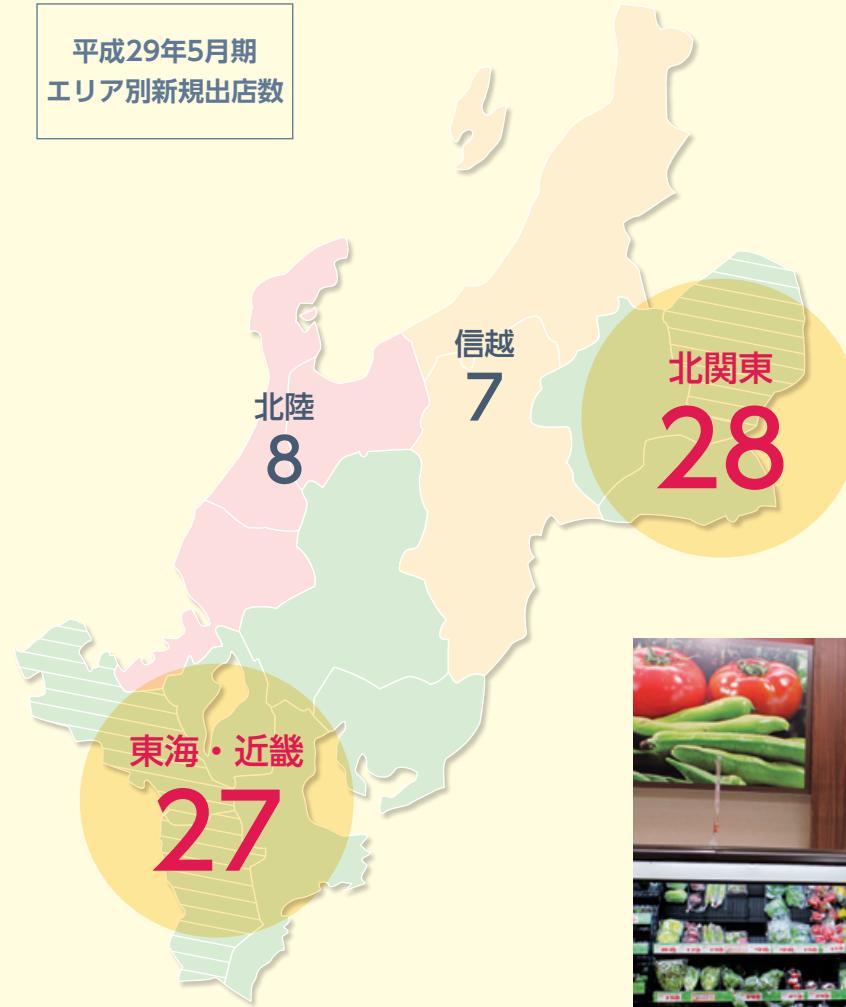


北陸から全国へと、新規エリアにおいても、お客様のより近くで、より便利にお買物をしていただける店舗づくりに取り組み、地域のお客様にご支持いただけるよう努めてまいります。

エリア別店舗数



平成29年5月期
エリア別新規出店数



新フォーマット店舗も増加中 ～更に便利な店舗づくりを目指して～

お客様のライフスタイルの変化に合わせ、日配品や冷凍食品、青果といった食品の品ぞろえを拡充した食品強化型の店舗フォーマットの実現を進めております。

また、食品強化型の惣菜や精肉に加え、鮮魚も強化し、更に利便性を高めた大型の生鮮食品取扱店舗も新規出店しております。今後もお客様にとってより便利な店舗づくりを追求してまいります。



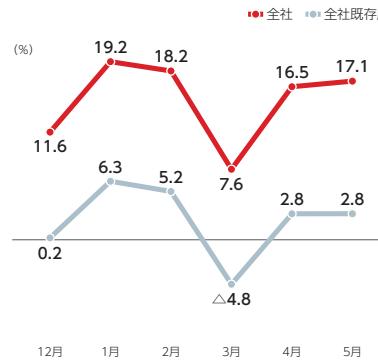


Business Review

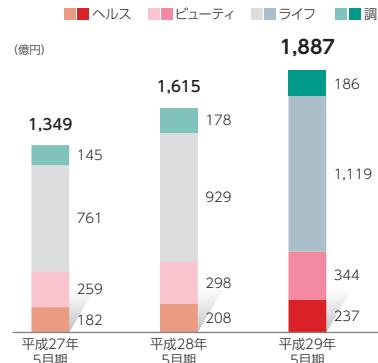
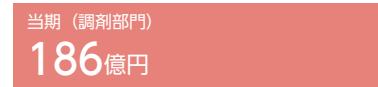
※1. 平成29年5月期より会計方針を一部変更しており、平成28年5月期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。
 ※2. 平成28年5月期以前は株式会社クスリのアオキ個別の数値、平成29年5月期は持株会社体制へ移行したため、平成29年5月期第3四半期より連結決算をしており、連結決算の数値を記載しております。

▶ 財務ハイライト

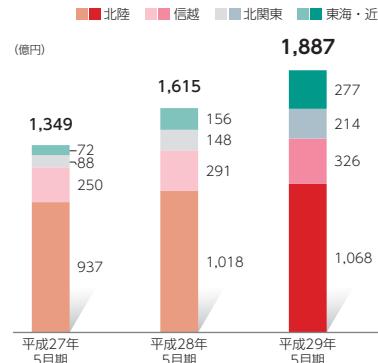
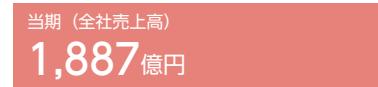
■ 既存店月次売上高前年同期比増率



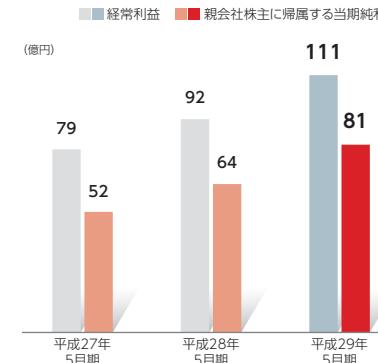
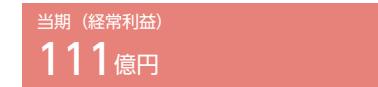
■ 売上高 (商品部門別)



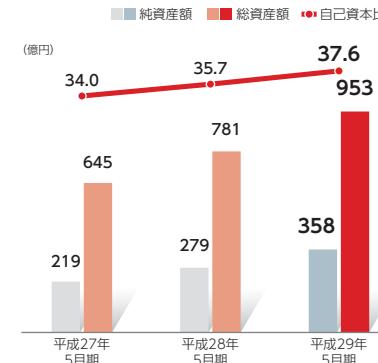
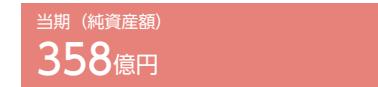
■ 売上高 (エリア別)



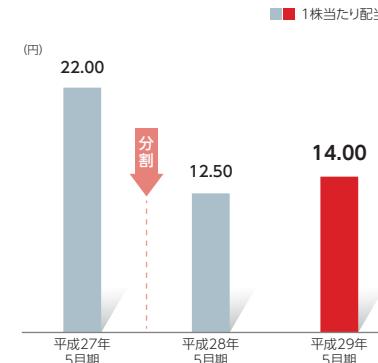
■ 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



■ 純資産額/総資産額/自己資本比率



■ 1株当たり配当額*



▶ 当期 (平成29年5月期) の営業の概況

当期 (平成28年5月21日～平成29年5月20日) におけるドラッグストア業界は、激しい出店競争や価格競争に加え、他業種の参入により医薬品販売の先行きの厳しさが増す等、依然として厳しい経営環境が続いております。このような環境の中、当社ドラッグストア部門では、お客様に支持される売り場づくりに努めるとともに、既存店の活性化に注力し、食料品の品ぞろえを拡充する等、より便利にご利用いただくため、店舗の全面改装を19店舗で実施いたしました。この結果、お客様のご支持をいただき、既存店の売上高が堅調に推移、売上高、利益ともに伸長いたしました。調剤部門では、併設調剤薬局の開局を進め、メディア活用による認知度向上や、患者様に気持ちよくご利用いただくための接客強化などに取り組んだ結果、処方箋枚数、売上高ともに伸長しております。

店舗の新設につきましては、ドラッグストア70店舗 (石川県4、富山県1、福井県3、新潟県4、長野県3、群馬県15、埼玉県8、岐阜県11、愛知県6、滋賀県4、三重県4、栃木県5、奈良県1、京都府1) の新規出店、ドラッグストア併設調剤薬局15薬局 (石川県2、富山県2、福井県1、新潟県2、長野県2、群馬県2、岐阜県1、愛知県1、滋賀県2) の新規開局を行いました。この結果、総店舗数は、ドラッグストア380店舗 (うち調剤併設薬局174店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計386店舗となりました。当期の業績は、売上高1,887億44百万円、営業利益106億76百万円、経常利益111億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益81億81百万円となり、増収増益となりました。

▶ 通期 (平成30年5月期) の見通し

平成28年11月に栃木県鹿沼市、平成29年4月に奈良県生駒市、同年5月に京都府京都市に出店し、順調に店舗数、出店エリアを拡大しており、平成30年5月期におきましては、過去最高となる72店舗のドラッグストア新規出店を計画しております。お客様よりご支持をいただいております食料品強化を主とした店舗全面改装は11店舗を計画しております。また、調剤部門につきましては、併設調剤薬局25薬局の新規開局を計画しております。医薬分業を担う、インフラとしての体制を整え、地域医療の窓口となれるようサービスの向上に努めてまいります。以上により、平成30年5月期末の店舗数はドラッグストア449店舗 (うち調剤併設薬局199店舗)、調剤専門薬局6店舗の合計455店舗となります。

平成30年5月期の業績予想につきましては、連結業績予想として、売上高2,200億円 (前期比16.6%増)、営業利益109億22百万円 (前期比2.3%増)、経常利益115億円 (前期比3.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益82億円 (前期比0.2%増) を見込んでおります。

※当社は、平成27年5月21日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年5月期および平成28年5月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。



Financial Data

※1. 平成29年5月期より会計方針を一部変更しており、平成28年5月期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。
 ※2. 平成28年5月期以前は株式会社クスのアオキ個別の数値、平成29年5月期は持株会社体制へ移行したため、平成29年5月期第3四半期より連結決算をしており、連結決算の数値を記載しております。

貸借対照表（要旨）

		(単位：百万円)			
科目	前 期 (平成28年5月20日現在)	当 期 (平成29年5月20日現在)	科目	前 期 (平成28年5月20日現在)	当 期 (平成29年5月20日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	34,448	41,334	流動負債	34,912	41,336
現金及び預金	9,001	6,525	買掛金	22,267	26,838
売掛金	1,971	2,351	短期借入金（※）	3,059	3,683
たな卸資産	17,721	22,234	その他	9,584	10,815
その他	5,753	10,224	固定負債	15,316	18,214
固定資産	43,721	54,054	長期借入金	11,183	13,552
有形固定資産	37,102	46,263	その他	4,132	4,662
建物及び構築物	25,273	38,408	負債合計	50,228	59,551
土地	1,046	883	純資産の部		
その他	10,782	6,971	株主資本	27,819	35,695
無形固定資産	735	832	資本金	1,391	1,030
投資その他の資産	5,883	6,958	資本剰余金	1,594	2,038
敷金及び保証金	3,260	3,889	利益剰余金	24,834	32,627
その他	2,621	3,068	自己株式	△ 1	0
資産合計	78,170	95,389	評価・換算差額等	61	74
			新株予約権	61	67
			純資産合計	27,942	35,838
			負債・純資産合計	78,170	95,389

（※）1年以内返済長期借入金

損益計算書（要旨）

		(単位：百万円)			
科目	前 期 (平成27年5月21日から 平成28年5月20日まで)	当 期 (平成28年5月21日から 平成29年5月20日まで)	科目	前 期 (平成27年5月21日から 平成28年5月20日まで)	当 期 (平成28年5月21日から 平成29年5月20日まで)
売上高	161,597	188,744	売上高	161,597	188,744
売上原価	117,521	135,658	売上総利益	44,076	53,086
売上総利益	44,076	53,086	販管費	35,083	42,409
営業外収益	377	561	営業利益	8,992	10,676
営業外費用	147	128	営業外収益	377	561
経常利益	9,222	11,110	営業外費用	147	128
特別利益	16	45	経常利益	9,222	11,110
特別損失	92	97	特別利益	16	45
税引前当期純利益	9,146	11,057	特別損失	92	97
税金費用	2,671	2,876	税引前当期純利益	9,146	11,057
当期純利益	6,475	8,181	税金費用	2,671	2,876

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

		(単位：百万円)			
科目	前 期 (平成27年5月21日から 平成28年5月20日まで)	当 期 (平成28年5月21日から 平成29年5月20日まで)	科目	前 期 (平成27年5月21日から 平成28年5月20日まで)	当 期 (平成28年5月21日から 平成29年5月20日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	10,719	8,743	投資活動による キャッシュ・フロー	△ 12,090	△ 13,049
財務活動による キャッシュ・フロー	1,892	1,826	現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	520	△2,478
現金及び現金同等物の 期首残高	8,481	9,004	現金及び現金同等物の 期末残高	9,001	6,525

